

初

笑

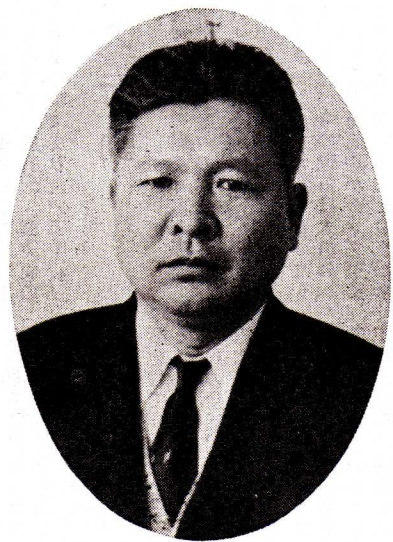
い

さわやかなれい明と共に新しい
年が明けました ことしも元気
にわらってダッシュしましょう



70年代をリードする玉造町に

玉造町長 坂本 常 蔵



玉造町のみなさん、明けましておめでとございます。
さわやかな黎明と共に、昭和四十六年の第一目の朝がまいるました。
ことはイノシシの年ですが、昔からイノシシは「猪突猛進」などといわれて、あまり良い意味には解釈されておられません。しかしながらよく考えて見ると、イノシシでも何の目的もなく「モーション」しているわけではなく、餌をとるとか、体をきたえたりとか、彼女を求めるとか、それぞの目的があって、その目標に向かって行動しているものと思われま

玉造町も昨年から、新しい目標として「玉造町振興計画」という目標をたてたのでありますが、今年はこの目標に向かって、町民のみなさん全部が行動を起こす年になることを期待しています。
私も、昭和三十四年町長に就任して以来、みなさんと共に町政発展のため、微力をつくしてまいりましたが、今年二十八日で第三任期の任期が終了いたします。
この間、みなさんから寄せられた、貴重なご意見、ご懇話などご指導など、どのひとつをとっても無駄なものではなく、深く感謝し、お礼を申し上げるものであります。かえりみると、昭和三十四年一月、みなさんの与望をになって私が町長に就任したのでありますがその時には、ちょうど合併後のいろいろな問題が整理されて、新しい玉造町がいよいよ動き出す時でありました。
新農村建設事業の推進にはじまる豊かな村づくり運動は、多くの土地改良事業、共同給水事業を生

み、農村青年研修所を設置し、農業機械化の先端をきって農村の近代化を推進いたしました。
私の就任第一年間にして、新町の進むべき方向も定まりました。その後の町政は、この基本計画を軸として道路の整備、教育設備の近代化、農業商工業の振興、生活文化の向上、社会福祉の増進等々各般にわたる事業を推進してまいりました。
これらの諸事業は、玉造町と同じ程度の規模の町村では、とうてい果し得ない程の量と質をもつものであります。玉造町が、よくこれを成し得たことは、町民関係各位の並々ならぬ努力と、ご協力のたまものと深く感謝している次第です。
こうして大きく成長した玉造町は、今後鹿島臨海工業地帯の造成や主都圏整備地区の石岡市の開発などの影響を大きく受け、住民生活は都市的要素を強めるとともに農業面においては、大規模経営の米作と都市近郊農業とに分化し住民の就業状況は次第に第二次、第三次産業に移行することが予想されます。
この中において、玉造町の町政は「明るく住みよい郷土の建設」「繁栄をもたらす産業の振興」「知性と健康にみちた町民の育成」の三本の柱を基本理念とし、「七十年代をリードする玉造町」になるよう、みなさんとともに輝かしい将来に向かって前進したいと存じます。

上山工業団地の造成は、農家の農外所得獲得のための不安定な季節的就労を安定就労へと導くためのものであり、高浜入干拓は、今後の農村のあり方を示す農業経営のモデルづくりの造成は既農家の規模拡大に役立たせたいと存じます。このように十年二十年さきの玉造町のあり方をみつけた事業と同じに身近にせまった諸問題の解決も急がねばなりません。
ゴミ処理の問題、低湿部落の排水処理問題、生活道路の舗装、防音校舎の完工、公民館建設、学校給食等々、処理すべき諸問題は山積しております。
社会の状況は、めまぐるしく変転しておりますが、この中にあって、なお力よく生きぬくためには強健なからだ強い精神力を持ち続けることこそ肝要と存じます。町民のみなさんのご自愛とご多幸をお祈りして新年のごあいさつといたします。

6年の展望



町長 議長 婦人会長 青年団長 現原農協長

町政の内容充実を

議会議長 竿台光雄



町民のみなさん、明けましておめでとございます。
ここに、希望の新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福とご繁栄を心からお祈り致します。
私は、四十三年に、はからずも

再度議長に選任されましたが、その後、議会の円満な運営と理事者との緊密な連係、建設的な協力こそ町政の伸展なりとの信念に徹し、誠心努力して参りましたが、おかげさまで、大過なく四十五年も越すことが出来ました。これも、みなさま方のご支援とご協力の賜と心から感謝に耐えませ

在のようによめざましい発展をとげてまいりました。しかし、社会状況の変化に対応して町民の福祉を増進し、町民生活の安定をはかる重要な問題が山積していま

その解決は、町政に参画するわたしたちの責務であり、国や県の施策と相まって、国費や県費を導入し、町政全般にわたる広い視野に立つて、内容の充実に努力しなければならぬと思ひます。

一月十五日の成人の日行事はつぎのとおりです。
▽成人式は従来どおり青年研修所で参観をいたします。
▽通知は各人にさしあげます。
▽今年のはじめは昭和二十五年四月二日から二十六年四月一日までに生まれた方で、原則として玉造町在住の方です。ただし、他町村へ転出されている方でも参加できます。希望者は、直接教育委員会へ申し込んで下さい。
▽成人の日行事については、しばしばあがられておられますが、国民の祝日として、この日の意義を正しく理解していただき、成人自身の自覚と地域のみなさんの認識とによって、できるだけ簡素なものとして実施したいと思ひます。

成人式は

みんな参加



ボクらの交通安全

よく見て運転してネ

○交通安全事故ってこわいんだヨ。だからよく見て運転してネ。
○交通安全は大人のみなさんだけでなく幼稚園から始まっています。
○現原幼稚園のよい子たちに「なにしているの」と尋ねると「のりものごっこ」という返事が返ってきました。
○しかし、そばで見ていると、園児たちの間では「一たんていし」「左右かくにん」と、交通用語が小さい口からポンポンととびだしていることにおどろきました。
○交通安全の思想は小さいころから心の中まで、はいりこんでいるようです。
写真は現原幼稚園の「のりものごっこ」

青年期へ第一歩

町長 新年おめでとうございませ
今日は新しい年を語っていただくために各層各層から集まっていた



だいたいわかるが、新しい町づくりのため日頃考えていることを語っていただきたいと思ひます。
七十一は内政の年といわれ、また世界は七十年代は日本の年だといわれています。玉造町も昨年は合併十五周年をむかえ、式典を終えました。今年はその意味で町の青年期への第一歩の年だと思ひ

ています。農業、産業等各方面において変動の中にもありますが、今年にはイノシシ年でもあります。町の目標である「明るく住みよい郷土の建設」「繁栄をもたらす産業の振興」「知性と健康に満ちた町民の育成」という三本の柱のもとに邁進したいと思ひます。
司会 町政については町長と共に

司会 みなさん、おめでとうございませ。いよいよ昭和四十六年ですが、今年は西暦で千九百七十七年、イノシシ年という年になります。今回は、この年にあつて、みなさんの希望と申しますか、それぞれの立場からの展望をお話しいただき、広報を通じて、町のみなさんにお知らせしたいと思ひます。ではまず町長から

一体をなす議会を代表して議長さんからひとこと。
竿台 町政の問題であった教育面も中学校の統合、工業高校の誘致と、近年において実現してまいりました。また小学校の改築も全地区の学校が完成まであと一歩となりました。一方、企業の進出で、町内に就労の場も設けることができ、なされたのが、この基礎的なことがなされたのが、そこで、これから考えることは観光開発ではないでしょうか。今は公害問題が起っているから、公害問題を主として開発を手がけ、民宿や国民宿舎の建設にとり組みたいものです。また、新田などの養魚団地も観光面で見れば、霞ヶ浦の名を高める

話し合いプラス行動
司会 では商工会長さんから、ことしにける抱負を。
原 ことしの問題は商工会館の建設ですが、その補助申請が県から許可になり年度内の完成をめざしています。また事業面では店舗改善、金融あつせんなど会内の協調をすすめてゆきたいと思ひます。また、今の悩みの一つは人口の減少です。この減少を聞きながら、親の断絶という問題を聞きながら、町におねがいして企業誘致で人口



減をカバーすることとゆつくり買ものができるような道路の実現に期待しています。
司会 今日は若い人の代表として青年団長の菅谷さんに来ていただき、いまの町を、若い立場から町に求めること、お聞きしましょう。菅谷 「ことしこそは」という気が第一です。町が青年期なら

私たちが自身も青年の時代をつくって行きたいと思ひます。いま私たちが欲しいのは、青年同志のつながりです。私たちが青年団活動を通して農業青年とは交流をもつことはできても、その他の商工、通商している人たちの交流が非常に少ないため、これから若い人たちの間の話し合いが出来たらと思っています。そのためには話し合いの場がほしいというところを、青年に共通するところを、そこで、青年に共通する話をしてみたいと思ひます。

司会 つぎに、婦人会長さんから住民の生活、婦人のあり方などを山口 婦人会は「下づみの団体ではあるが家庭の中心を占める者の集まり」というところから大切なもの、だと思ひます。このごろ親子の断絶という問題を聞きながら、町におねがいして企業誘致で人口

謹賀新年



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------|---------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-------------|----------|---------|----------------|-----------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 町長 菅台光雄 | 副町長 大崎正忠 | 収入役 宮本純 | 教育長 額賀直行 | 総務課長 佐山淳 | 企画課長 笠原秀司 | 税務課長 萩原健吉 | 産業課長 小沼昭男 | 建設課長 福山義 | 町民室長 照山吉房 | 保健衛生課長 関野英夫 | 出納室長 小谷博 | 議事室長 高野 | 農業委員会事務局長 根崎正夫 | 議会議員 八木徳男 | 大和田良之 | 飯島良之 | 高塚吉雄 | 鈴木一之 | 木村茂 | 井川久次 | 久米久良 | 飯島勝治 | 濱崎昇 | 笹目正男 | 貝塚国男 | 川崎景治 | 大崎正維 | 瀧崎太郎 | 鈴木盛 | 荒木由也 | 今井由也 | 飯島豊雄 | 平間豊蔵 |
|---------|----------|---------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-------------|----------|---------|----------------|-----------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|

46

委員長 金塚 憲吉	委員 菅谷 仁	委員 西谷 喜成	委員長 郡司 忠夫	委員 飯田 脩	委員 田沢 英	委員 小沼 筆口	委員長代理 飯田 脩	委員 田沢 英	委員 小沼 筆口	委員長 若泉 利夫	委員 西谷 武雄	委員 大崎 庄司	委員長 鈴木 昊	委員 川島 治助	委員 飯島 健	委員 小島 信男	委員 齊藤 清一	委員 飯島 貝之	委員 金井新次郎	委員 横田 実	委員 磯山 忠相	委員 来栖 順一	委員 島田関之助	委員 加固 進	委員 栗原 三郎	委員 大場 直	委員 羽生 善胤	委員 高塚 吉雄	委員 鈴木 一二	委員 齊藤 将	委員 荒木田 盛	委員 笹目 正義	委員 石川 武夫	委員 羽成 忠男	委員 曾根 康充	委員 田宮 照光	委員 菅谷 真	委員 根崎 勇	委員 安部 要	委員 森作平左門	委員 中島三之助
--------------	------------	-------------	--------------	------------	------------	-------------	---------------	------------	-------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	-------------

国保を有利に使いましよう

早い妊婦届で医療費をタダに

妊産婦の医療費はタダ(無料)です。国保の被保険者であれば妊産婦医療手当金の支給を受けることが出来るので医療費は無料になります。妊婦手帳の交付された月の初日から出産の翌月の末日までが支給期間になりますので、早く手当を受けるためには妊婦届をなるべく早くすることが大切です。

妊婦による疾病は勿論、妊婦に
よらない疾病でもすべて支給の対
象になります。これは妊産婦の健
康状態をできるだけ良くすること
が、丈夫な赤ちゃんを産み、かつ
育てるのに一番大切な条件から
です。

母子健康センターでは、妊婦の
届出をしたかたについて、健康相
談、妊婦検診を実施しております。
血液、血圧、尿等の検査をはじめ
栄養、育児についてまで相談、
指導に応じていますので、進んで
利用してください。

検診等により異常を認めるとき
は医師の診療を受けるよう指導し
ております。

異常が認められると指導を受け
たかたは、なるべく早く医師の診
断を受け、必要があれば治療を受
け、心配のない健康状態で出産を
迎えることが必要です。この場合
妊婦が医師にかかりやすいよう家
族のかたがみんなで協力するよう
です。

検診や指

お年始の訪問



○訪問の前に心がけたいこと
松の内とはいえ、前もって都合
を伺うのが本筋です。

○時間厳守
マイカーの人は、とくに交通事
情を計算して行くこと。三十分以
上遅刻しそうな途中から電話で
おくれることを断ることは、
反対に早すぎたら、先方のことを
考えて、近くを散歩して時間ど
りにしましょう。

○呼び出しは短くはつきりと
ピーと長く鳴らされるのはイヤ
なものです。

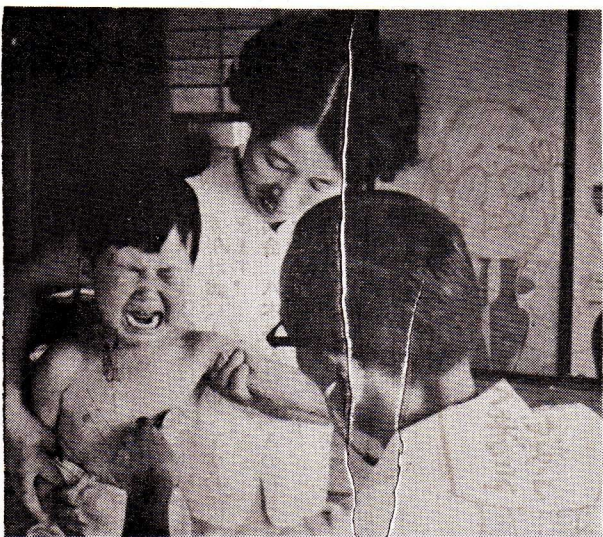
○玄関でのあいさつ
玄関先だけでお年始のごあいさ
つをするとき、防寒用具は全部脱
ぎます。お部屋に通るときはマフ
ラー、手袋、ショールをとるだけ
で、コートは着たままでしょっ
うです。

良いことは実行しよう 公共心を育てる集会

十二月八日、
中学校で公共心
を育てる玉造地
区研究集会が開
かれました。
「物で来え、心
でこころえ」とい
われる現代の経
済成長のほけし
い世の中で、学
校家庭、社会が
一体となって、
地域ぐるみ問題
として、公共心
を育てることに
なりました。私
たちは、どう対
処したらよいかを
研究しました。
県、教育事務
所から指導助言
者を迎えて、町
内から百六十人の参加者とともに
「地域における公共心、公德心の
実態をみつめた地域ぐるみの実践
活動を展開しよう」を研究主題と
し、五つの分科会に分れて活発な
話し合いが行なわれました。
各分科会のテーマは
①きれいな町をつくるために私
たちは、どんなことをしなければ
ならないか。
②交通道徳を高めるために私
たちは、どんなことをしなければ
ならないか。
③やくそくやきまりを守るために
私たちは、どんなことを心がけな
ければならないか。
④家庭の教育で公共心(物を大切
にする心)を、どのようににつけ
たらよいか。
⑤公共心についての理解と実践の
不一致をどのように解決したらよ
いか。
以上について話しあった結果、

食べすぎに注意

導は決して入所を制限するため行
なっているのではなく、安全分べん
な目標に行なっていることをこ
理解いただきたいと思ひます。
妊産婦医療手当金制度も同じ目
的で作られたものです。
「健康な赤ちゃん」は国の宝と言
われますが、健康な赤ちゃんを産
むために一番大切なことは母性の
保護です。
妊産・出産は女性の生理作用で
す。このムクミはあたり前にと
割り切った簡単な考えを持つた人
がまだまだたくさんおられます。こ
れは危険な考えです。私たちが生
きていくことそのものが生理作用
なのだから、アッチが痛い、コッ
チが具合が悪い……があたり前と
言う考えはつながらず、
早期受診、早期治療は常識で
す。特に出産、育児という大事を
抱えている妊産婦にとってはとく
に必要なことです。
●健康な赤ちゃんを育てましょう
●妊産婦医療手当制度により妊産
婦の病気をなくしましょう。
●母子健康センターをもっと利用
しましょう。



お正月は、どこの家庭でも、い
わゆるおせち料理とおもちが食生
活の中心になります。
そのうえ、おとなの人はお酒を
飲む機会もふえ、どうしても胃の
負担が重くなります。さらに運動
不足も手伝って胃腸最悪の時とな
るでしょう。
おとなはともかく、こどもは目
につくものが食べたくなり程度が
わかりませんが、お家の人たちが、
みんなで注意してやり食べすぎで
おなをこわすことのないようにし
てやりましょう。

町民の声

投稿 歓迎
みなさん。住こ
よせ。氏名明記のこ
所と。メ切毎月25日

秋に実施された健康診断(レン
トゲン車)のとき気がついたこと
を申し上げます。
町民の中には、高令者、身体障
害者、関節炎で病む者などたくさ
んあります。
車上での健康診断には不便を感
じますので乗降口には階段あるい
はすべり止めをついた板をななめ
につけるなり考慮してください。
階段のときは三段ぐらいにして、
段差もすくなくし診断車に常備し
てくださるようお願いいたします。
私自身、身体障害者ですが、よ
ろしくおねがいします。(二町民)

◆おめでた

赤ちゃん	父	続柄	部
真家 光	幸治	二男	落
沼田 浩治	准一	長男	井
滝ヶ崎 純子	守弘	二女	竹
明智 悦子	勝美	二女	井
鈴木 英子	文雄	二女	井
野原 英子	勝美	二女	井
狩谷 和成	一美	二男	井
郡司 文子	利男	長女	井

◆おこやみ

岡本 是	年令	部
岡本 阿さ	五七	落
風間 隆之助	六二	井
根崎 茂八	五一	井
原田 とく	八四	井
風間 サク	七一	井
幡谷 洋吉	二八	井
鈴木 吉	八一	井
金塚 茂生	七六	井
宮崎 松之助	七六	井
平間 寛之介	六一	井

◆あ と が き

新年おめでとうございます
昭和四十六年という年を迎えまし
た。私たちがとりまく国内、国外
の社会情勢が何年か前の、それと
いじりしく変わってきていること
を、身をもって感じさせるお正月
ではないでしょうか。
でも、お正月は、やっぱりおめ
でたのしいものです。

モデルPTAの発表会

現原小 二年間の研究のりる

十一月五日、素晴らしい晴れの
下、他校から百三十六名、本校会
員百二十九名という予想をうま
わる多数のご参加をいただき、県
委嘱モデルPTAとして、私たち
現原PTAが二年間努力し研究し
た成果を見ていただく発表会が開
かれました。学年PTAの話し合
いは各学年とも十一月のテーマ
で話し合われ、どの学年もこの
言葉使いもふだんのままで活発
に意見がのべられ、講師の先生か
ら「こどもとの接し方」というテ
ーマの講話の中で「親はつねにこ
どもから目をはなさない、こども
をけなす言葉を使わない、友達や
兄弟を比較しない」という、有意
義なご意見をいただきました。
そのあと、専門委員会とクラブ
活動の公開があり、成人教育、図
書、校外生活、広報の各委員会の
活動状況を見、クラブ活動では、
テニス、生花、バレエ等が行なわ
れました。

正月三日までは、大半の職場は
お休み、運動不足や食べ過ぎを警
戒しましょう。
これから二月中旬までは、寒さ
もきびしいので、節度のある家庭
生活を営むくふうをこらしまし
う。

